

私は、その男の写真を三葉、見たことがある。

一葉は、その男の、幼年時代、とても言うべきであろうか、十歳前後かと推定される頃の写真であつて、その子供が大勢の女のひとに取りかこまれ、（それは、その子供の姉たち、妹たち、それから、従姉妹たちかと想像される）庭園の池のほとりに、荒い縞の袴はまをはいて立ち、首を三十度ほど左に傾け、醜く笑っている写真である。醜く？ けれども、鈍い人たち（つまり、美醜などに関心を持たぬ人たちは、面白くも何とも無いような顔をして、可愛い坊ちゃんですね」

といい加減なお世辞を言つても、まんざら空お世辞に聞えないくらいの、謂わば通俗の「可愛らしさ」みたいな影もその子供の笑顔に無いわけではないのだが、しかし、いささかでも、美醜に就いての訓練を経て来たひとなら、ひとめ見てすぐ、

「なんて、いやな子供だ」と頗る不快すげそうに呟つぶやき、毛虫でも払いのける時のような手つきで、その写真をほうり投げるかも知れない。まったく、その子供の笑顔は、よく見れば見るほど、何とも知れず、イヤな薄気味悪いものが感ぜられて来る。どだい、それは、笑顔でない。この子は、少しも笑つてはいないのだ。その証拠には、この子は、両方のこぶしを固く握つて立っている。人間は、こぶしを固く握りながら笑えるものではないのである。

太宰治 大間失格」より

文脈のある書き出しをカットは問題ありません

その子供が大勢の女のひとに取りかこまれ、（それは、その子供の姉たち、妹たち、それから、従姉妹たちかと想像される）（つまり、美醜などに関心を持たぬ人たちは

中略の表記をせず、大胆にカットは問題があります

まんざら空お世辞に聞えないくらいの、謂わば通俗の「可愛らしさ」みたいな影もその子供の笑顔に無いわけではないのだが、

再度、中略の表記なしで文章をつなぎ合わせているのは問題です

毛虫でも払いのける時のような手つきで、まったく、その子供の笑顔は、よく見れば見るほど、何とも知れず、イヤな薄気味悪いものが感ぜられて来る。どだい、それは、笑顔でない。この子は、少しも笑つてはいないのだ。その証拠には、この子は、両方のこぶしを固く握つて立っている。人間は、こぶしを固く握りながら笑えるものではないのである。

出典表記がないのは問題です

上段は、本来の文章です。下段は、入試問題として切り取り、繋ぎ合わせられていました。出典表記すらありません。